



解説動画▲

# 山形県 田んぼダム推進事業

～R7実施状況とR8実施方針について～

山形県農林水産部農村整備課

1

## 1. 山形県田んぼダム推進情報連絡会の概要

- 本県において田んぼダムを推進するにあたり、**営農と防災対策の両立**を図りながら取組を拡大するため、**現状や課題等の共有と取組方策等を検討**することを目的とする。
- 連絡会は、次の業務を行うこととする。
  - (1) 田んぼダムに関する現状と課題の把握、技術的検討に関すること。
  - (2) 田んぼダムに関する情報収集や関係者への周知に関すること。
  - (3) 田んぼダムに関する各種研修会に関すること。
  - (4) 田んぼダムに関する実証調査等の実施に関すること。
  - (5) その他必要と認められる事項に関すること。
- 構成員

所属	職名等
活動組織	NPO法人みさと田園空間クリエイターズ、最上町広域協定、野川地域農地・水・環境保全組織、農地・水・環境保全組織いなばエコフィールド協議会
市町村	会長が指名する市町村
関係機関	東北農政局西奥羽土地改良調査管理事務所最上川支所長、山形県土地改良事業団体連合会専務理事
オブザーバー	新潟大学農学部 宮津 進 准教授、農林水産部農業総合研究センター、各総合支庁農村計画課長

2

## 2.山形県田んぼダム推進事業（これまで）

事業内容	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1. 推進組織運営			
2. 実証ほ場の設置、調査解析			
排水抑制効果の検証	【置賜】 川西町、飯豊町 計18.5ha	【村山】 河北町、村山市 計38ha	【最上】 舟形町 最上町 計15.5ha
収量等の実態調査			【庄内】 京田川流域 効果分析
3. 情報発信			
	県内外の事例集	動画配信等	県政番組
4. 研修会の開催 県内の実証ほ場での現地研修会や多面研修会で			
5. 取組み農家の支援（国の補助制度を活用）			
ソフト支援	多面的機能支払交付金により農家の活動を支援		
ハード支援	農地耕作条件改善事業や県営農地整備事業等を利用して水尻樹設置や畦畔構築を支援		

## 3.山形県田んぼダム推進事業

事業内容	令和7年度	令和8～10年度
1. 推進組織運営		
2. 研修会や情報発信活動		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>多面活動組織研修</li> <li>推進ワークショップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多面活動組織研修</li> <li>現地研修</li> <li>推進ワークショップ</li> <li>出前講座【田んぼダム模型活用】</li> </ul>
3. 取組み農家の支援（国の補助制度を活用）		
ソフト支援	多面的機能支払交付金により活動組織の取組を支援	
ハード支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地耕作条件改善事業を活用して排水ます設置や畦畔構築を支援</li> <li>県営農地整備事業等（R7以降）の新規採択地区で田んぼダム実施</li> </ul>	

## 4. 令和7年度山形県田んぼダム推進事業①

### ◆R7多面的機能支払交付金に係る研修会

◆日時 R7.7.29 (火) 寒河江市市民文化会館

◆出席者 多面的機能支払活動組織、土地改良区、行政関係者  
(約470名)

◆目的 山形県田んぼダム推進事業で得られた知見等を多面的機能支払活動組織や市町村、土地改良区等の関係団体と共有、理解を深め、取組拡大を図ること

### ◆研修内容

① 山形県田んぼダム推進事業で得られた知見の共有 山形県農林水産部農村整備課

② 田んぼダムと農地保全の活動～流域の下流から上流まで～

新潟大学農学部准教授 宮津 進 氏

③ 田んぼダムの取組～水害に強い地域づくりを目指して～

栃木県思川西部農村環境保全会(思川西部土地改良区) 平本 隆幸 氏

④ 多面活動と土地改良区の関わり～田んぼダム取組みへの支援～

最上川中流土地改良区 鈴木 奏人 氏



5

## 5. 令和7年度山形県田んぼダム推進事業②

### ◆田んぼダム推進ワークショップ

◆日時：R7.11月～12月 各総合支庁(4ブロック)

◆出席者：多面的機能支払活動組織、土地改良区、市町村、県NN部局(約160名)

◆目的：

- ・田んぼダムの貯留効果や営農への影響について情報共有するとともに、新たに取り組むことを検討している組織・団体とすでに取り組んでいる組織・団体の話合いの場を設定することで、田んぼダムの活動に対する理解を深めるとともに取組面積の拡大を推進する。
- ・県営農地整備事業等での田んぼダムの取組拡大に向けて担当職員の理解促進を図る。

### ◆ワークショップ内容

①山形県田んぼダム推進事業(R4～R6)で得られた知見の共有  
田んぼダムの貯留効果検証や営農への影響調査の結果について

②グループワーク

①田んぼダムに取り組むきっかけ ②取り組むための心配ごと ③課題(心配ごと)解決提案

③田んぼダムの取組に活用できる事業の紹介



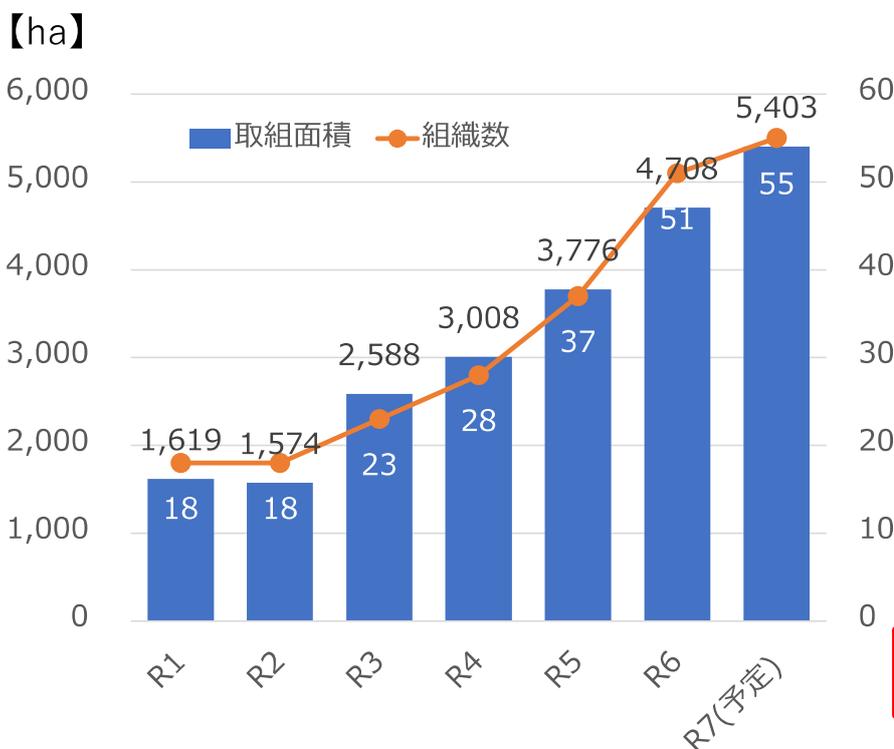
# 6.山形県田んぼダム推進事業（これから）

事業内容	令和7年度	令和8～10年度
1. 推進組織運営		
2. 研修会や情報発信活動		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>多面活動組織研修</li> <li>推進ワークショップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多面活動組織研修</li> <li>現地研修</li> <li>推進ワークショップ</li> <li>出前講座【田んぼダム模型活用】</li> </ul>
3. 取組み農家の支援（国の補助制度を活用）		
ソフト支援	多面的機能支払交付金により活動組織の取組を支援	
ハード支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地耕作条件改善事業を活用して排水ます設置や畦畔構築を支援</li> <li>県営農地整備事業等（R7以降）の新規採択地区で田んぼダム実施</li> </ul>	

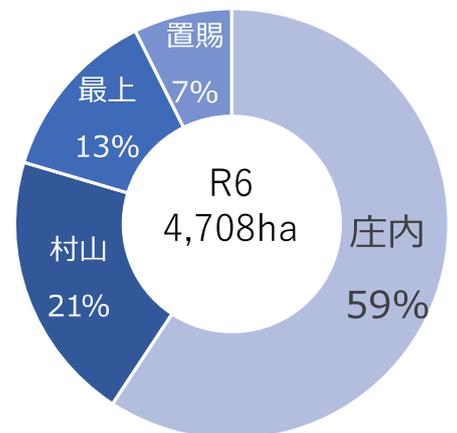
# 7.取組面積の状況

- 山形県では年に数百haの規模で拡大している。全国で第4位の取組面積となっている。

●山形県における取組面積と組織数の推移



●令和6年度実績  
取組面積の地域割合



**R10目標 7,800ha**